

# 鴨川小学校だより

令和5年5月2日第5号（保護者の皆様へ）

## 「心ひらく一言」

「おはようございます。」この一言で、すがすがしい一日が始まります。私の顔を見て、笑顔であいさつをしてくれる子がいます。

「ありがとう。」この一言で、お互いの心が温かくつながります。

この世の中、自分一人が生きているのではありません。年齢も、性格も、生き立ちも、考え方も違ったさまざまな人たちが相寄って、共同生活を営んでいます。私たちの先輩は長い年月をかけて、その共同生活をスムーズに、豊かにするためのさまざまな知恵を生み出してきました。その一つが、人と人をつなぐ感謝の一言、思いやりの一言、そのほんの一言によって、相手の心がひらけ、心と心が通い合う。今、そんな一言をかけあうことが少なくなりつつあるといわれています。自分のことしか考えられなくなってきたためか、あるいは、習慣として身につけていないからか。いずれにしても、よい言葉を、家庭でも、学校でも、職場でも、もっともっと気軽にかけあいたいものです。心をひらく一言を、私たちは、たくさん持っているのですから。

鴨川っ子かしこくなる3つの心得～「あ」の巻～

相手に聞こえるあいさつ

名前を呼ばれたら「ハイ」という明るい返事

感謝の気持ちを伝える「ありがとう」という言葉

※ゴールデンウイーク明けの5月8日より、スクールバスにおけるマスクの着用を求めないことを基本とします。

※交通事故などにはくれぐれも気をつけて、子どもたちが健康で安全なゴールデンウイークを過ごすことができますようお願いいたします。

（校長 福井 明）